



信越産業株式会社

SHIN-ETSU INDUSTRY CO., LTD.

多機能型コンクリート添加剤

SS-HT510

コンクリートの流動性が良くなり材料分離が低減します。

特 徴

1. 適度な粘性を持ったクリーミーなコンクリートにして、分離抵抗性を大きく改善することが出来ます。
2. 高流動コンクリートの問題点である表面水や外気温等の変動に影響を受けにくく、管理が容易になります。
3. コンクリート強度に対する悪影響が無く、安心して使用いただけます。
4. 巻き込みエアアの脱泡性が良く、気泡の少ない製品が出来ます。
5. ブリーディングの抑制効果があり、コテ仕上げが容易になります。
同時にミズミチが少なくなります。
6. コンクリートの分散性が向上しますので、沈下クラックの抑制にもつながります。
7. 使い続けると型枠に添加剤皮膜が展着し、離型効果を補助します。

使用方法

1. コンクリート配合の総粉体量（セメント+混和材）の0.075～0.3%を練り混ぜ水に混ぜ込み、添加してください。
使用量は水として計算してください。
（セメント350Kgであれば、約260gが最低ラインです）
2. 他の混和剤と混練する場合、混合液の液温を20℃程度以上に保ってください。
冬季に液温が下がると、混合液が分離する可能性があります。
水中ポンプを使用すると、問題は無くなります。
3. 外気温（生コン温度）により効果が変わります、季節・温度によって配合量を変えてください。
4. 配合量は最低0.075%～最大0.3%でご使用ください、これを超える範囲で配合しても効果は無いが、多すぎると生コンが増粘して弊害が出ますので、ご注意ください

用 途

生コンクリート全般

配合例（高流動コンクリート）

セメント	水	細骨材	粗骨材	混和材	高性能減水剤	SS-HT510
350	180	732	876	168	3.00	390g

使用上の注意

1. 本製品は生コンクリート配合用です、本来の使用目的以外には使用しないで下さい。
2. 雨水等が入らないようにご注意ください。
3. 直射日光を避けて保管して下さい。
4. -5℃以下になると凍結のおそれがあります、冬期は配管やタンク等の凍結対策をして下さい。
特に容器の置き場の凍結にご注意下さい。
5. 夏場は生コン自体の粘度が上がる傾向があります、SS-HT510をご使用の際には、源配合の粘度を下げてください

荷 姿

180Kgドラム缶、16Kg缶

信越産業株式会社 本社 〒115-0045 東京都北区赤羽1-52-10 <http://www.shin-etsu.co.jp>

本社営業部	〒336-0964	さいたま市緑区東大門1-5-4	☎048-812-1160	FAX048-878-2309	E-mail: eigyoubu@shin-etsu.co.jp
北海道支店	〒078-8274	旭川市工業団地4条1-2-3	☎0166-74-4805	FAX0166-36-4245	E-mail: hokkaido@shin-etsu.co.jp
大阪支店	〒571-0041	門真市柳町13-5(山口ビル3F)	☎06-6909-7101	FAX06-6909-7173	E-mail: oosaka@shin-etsu.co.jp
福井支店	〒911-0848	勝山市鹿谷町保田57-36-2	☎0779-89-2293	FAX0779-89-1823	E-mail: fukui@shin-etsu.co.jp
広島支店	〒738-0205	廿日市市峠245-84佐伯工業団地	☎0829-74-1563	FAX0829-74-3261	E-mail: hirosima@shin-etsu.co.jp
盛岡営業所	〒020-0664	滝沢市鶴銅笹森5-27	☎019-684-4367	FAX019-684-2157	E-mail: morioka@shin-etsu.co.jp
中部営業所	〒503-0852	大垣市禾森町6-74(加納ビル2F)	☎0584-73-4270	FAX0584-81-5084	E-mail: chubu@shin-etsu.co.jp
熊本営業所	〒861-8035	熊本市東区御領8-8-11	☎096-388-1027	FAX096-388-1028	E-mail: kumamoto@shin-etsu.co.jp